

2023年度 一般社団法人 示現会
NO.7 (通算 NO44) 2023・6・30

事務局だより

事務所 ☎ 03-3824-9128

- 委員会報告
- 巡回展始まる

裏面 ○＜特集＞研究会案内
巡回展報告・岐阜支部
台湾からの便り

大谷選手の活躍が連日報道されています。さわやかな仕草と、活躍のギャップもまた魅力です。それに反して、ウクライナ侵略や、シリア、ミャンマー等の報道は心が痛みます。平和な(いろいろありますが)日本で絵を描ける幸せを改めて思います。

3年ぶりの「委員会」開催

4月28日示現会館2階会議室で3年ぶりの委員会が開催されました。役員、委員29名の出席で約3時間にわたる第76回示現会展の反省を中心に活発な討議が行われました。

井上事務責任者から76回展の概要が報告され、そのあと佐藤事務副責任者の司会で展覧会を担当した各係からそれぞれの活動についての内容が報告され、引き続いて、77回展実施に向けての提案がいくつかあり、其々の係を中心に対応策を検討することになりました。



話し合われた主な内容

- 賞** 現寿賞の渡し方や賞品の発送の仕方を考えたい。賞をもらいに壇上に上がれない方をどうするか、賞品の渡し方 送り方については案を作り検討したい。
- 搬入** 1日目 2日目とも会員のメンバーで対処した。アルミの額で他の作品に傷つかないように布テープを貼る作業をした。注意事項を申込用紙の表の空きスペースに印刷してほしい。
- 早見表** 75回展では印刷して配布したが、作業や費用が大変だったのでコロナ前と同じく会場内掲示にした。
- 目録広告・広報宣伝** 30社からの広告収入は70万円ぐらい。宣伝はメディア30社 画廊・画材店等300店 入選者の多い県の地方紙33社等に案内した。
- 懇親会** 昨年と変わり円卓にもどった。当日の展覧会会場での受付を休憩所にしてよかった。受賞者 支部長 台湾の方の紹介がよかった。参加者は129名
- 陳列** 76回展では上部にある作品は50点近く少なくなった。見やすくなったと好評。
- 講評タイム** 12名応募 講評タイムの告知の方法がうまくいかなかったため予想より人数が少なかった。
- その他** 出品者1名あたりの集客数 17.9人 5年前は22.6人 どうやって観客を集めるか考えたい。今年は入場券を購入した人が1245人で87万円の収入、ほとんど外国人だった。来年は英語のキャプションを入れ、受付に英会話のできる方を置きたい。

会場などで何か気が付いたことがありましたら、ご連絡ください。

事務局便り NO2 の委員会の仕事分担で目録広告の文字が抜けていました。表の広報宣伝の前に「目録広告」が入ります。

巡回展始まりました！

全国、14会場で開催される巡回展は6月現在「岐阜」「兵庫」「熊本」「北九州」「和歌山」「徳島」と順調に進行しております。それぞれの会場での様子などは順次、事務局だよりでお知らせいたします。

それぞれの会場では本部、支部の作品、公募展の作品などが展示されます。旅行を兼ねて展覧会場を巡るのもよいですね。

《金沢展》

7月6日(木)
～7月10日(日)
石川県立美術館

《長野展》

8月16日(火)
～8月20日(日)
「サントミューゼ」
上田市美術館

《京都展》

9月12日(火)
～9月17日(日)
京都市京セラ美術館

《名古屋展》

7月19日(水)
～7月23日(日)
愛知県美術館

《福岡展》

8月29日(火)
～9月3日(日)
福岡市美術館

《長岡展》

10月28日(土)
～11月5日(日)
長岡市美術センター

《福井展》

11月22日(水)
～11月26日(日)
福井市美術館

お詫びと訂正

先日配布いたしました、「示現会会報」の1頁中ほど(記載もれ)がありました

「※4月27日～
5月1日 兵庫展
(於 兵庫県民会館)
陳列点数 87点
入場者数 1001名
＜公募展＞
応募者数 26名 応募
点数 26点」
上記の記録が抜けておりました。お詫びして訂正いたします。

今後の予定

7月16日(日) 作品研究会
8月20日(日) 作品研究会
8月22日(火)～27日(日) 奨励展
9月24日(日) 関東周辺・作品研究会
(25日・会館開放)
10月1日(日) 作品研究会
(2日・3日会館開放)

※研究会については順次内容などを「事務局だより」でお知らせします

7月の研究会

詳しくは「事務局だより」の6号をご覧ください。

リモート+対面 実施日 7月16日(日)

<「写真」及び「対面」締め切り 7月10日(月)>必着

※「対面リモート」は写真データを期日までに送ります。

対面希望者は会場となる示現会館に来館。送られてきた写真をプロジェクターで映し、それを見ながら講師から直接指導を受けます。(作品は持参しません)

*対面は3Fにて午後2時くらいから実施

○ 日展に出品予定者は出来るだけ参加ください。

8月の研究会

7月と同じようにリモートと対面で行います。

実施日 8月20日(日)

<「写真」及び「対面」締め切り 8月14日(月)>必着

研究会には各回ごとに「意思表示」を切り取って USB、写真などと同封することになっています。

質問などは、事務局までどうぞ
事務所 ☎03-3824-9128

定休日水・木

巡回展報告

岐阜支部

支部の皆さんの力で素晴らしい
展覧会が開催できました。

2023年(令和5年)5月6日 土曜日



具象の美追求 感性光る

自然や街並み、大型の53点並ぶ

WE
LOVE
GIFU

示現会館は1947年設立の美術家団体で、岐阜支部も同様に発足。示現会設立メンバーの洋画家・故江崎寛友氏が岐阜市出身だったことで、設立当初から岐阜展が開かれていた。示現会本展入賞作品などと岐阜支部員による80号から130号までの大型作品計53点を展示。岐阜支部からは、いずも江崎寛友に選ばれた松本武彦さんの「残雪」、辻文明さんの「紅葉の妖艶」や、内木健二支部長の「地蔵舞伎・女性」、山田裕彦元支部長の「浄土」など、会に推された溝口武彦さんの「コナラの木」は見どころの一つとされている。8日まで。

示現会展岐阜展が開幕



内木支部長は「具象といっても写真ではないので、作家の感性が色や形に表れる。それが長年追求してきたテーマの世界観を、来場者に味わってもらえたら」と話している。

特集1 台湾からの便り



李学當さん



周天竜さん

台湾示現会の活動について

台湾における「示現会展出品者の集い」を夏季と冬季の年2回開催致しております。メンバーにとって事務局から送られてくる書類、会報等の日本語文章は理解できなく、私が説明しなければなりません。そのための会合を持つ必要があり、それが又、親睦を深める座談会にもなっています。今回は6月8日高雄市鳳山区にて出席者16名で行われました。其々、日展出品、示現会展出品の対応を兼ね、事務局からの連絡事項と示現会会報の報告と説明(通訳)を行いました。続いて

1、日展研究会、示現会研究会の出席について

1、作品送付について

1、各研究会の参加について

又問題点として事務局からの郵便物が台湾着まで、日数のタイムラグがあり、時に作品を直すための時間に追われることもしばしばある等の話し合いがなされました。

次に示現会研究会費、会費

まとめて、陳明昭(会友)

から振込します。

・東美支社まとめて振り込みの件

・李学當さんより示現会展講評会に参加、報告あり

・出品者懇親会へ多数の参加あり

・開催のお祝いとして粗品送付を

した事、等々の報告があり、雑談も楽しく、盛会のうちに終わりました。(報告者・周天竜(会員))



五月の連休中に岐阜巡回展(示現会、岐阜新聞岐阜放送主催)を岐阜市市民会館ギャラリーで開催しました。開催初日に、示現会理事長の成田慎介先生から自作品の前で制作の意図や絵画論についてお話を聞き(写真)、続けて個々の会員の作画指導をしていただき、私達のより深い絵画制作姿勢の向上につながりました。また、五月二〇・二一日には木曽福島宿に宿泊して晴天の開田高原と八ヶ岳の写生会を開催しました。

原健三先生ら三十一名の発起人によって示現会が創立され、戦後の混乱した社会の中で美術文化に飢えた人々に大きな感動を与えたといえます。その翌年二月に第一回示現会展が東京都美術館で開催され、同四月には岐阜出身の江崎寛友先生らが中心となって岐阜タイムス(現在の岐阜新聞)と共催して岐阜市の丸物百貨店で第一回示現会展岐阜展を開催しました。今年で七六回展を迎えます。創立当初の先輩諸氏の苦労と熱情を今後の岐阜支部活動の原動力にしていけることが、後を継ぐ我々の大事な責務だと考えています。

岐阜支部長 内木健二

皆様からのニュースをお待ちしています。

メール先 佐藤祐治宛

sato_y_n@d6.dion.ne.jp

